

## 次号予告

### 特集 行動とOR

- シロアリのランデブー探索.....水元惟暁（沖縄科学技術大学院大学）  
群れロボットの進化生物学—“盲目の時計職人”はいかにして“時計”を再現したか—  
.....土畑重人（東京大学）、一ノ瀬元喜（静岡大学）、藤澤隆介（九州工業大学）  
感染症コンパートメントモデルのメカニズム.....守田 智（静岡大学）  
ゼロ行列戦略とその拡張.....一ノ瀬元喜（静岡大学）、間宮安曇（三菱電機（株））  
ゲーム理論における社会的ジレンマの可視化—互惠ルールがもつ協力的行動の促進メカニズム—  
.....伊東 啓（長崎大学）、谷本 潤（九州大学）  
動的意思決定と人間行動—アレのパラドックス (Allais paradox) の解法—  
.....吉村 仁・岡部拓也（静岡大学）、伊東 啓（長崎大学）

### 機関誌バックナンバーのWeb掲載について

機関誌のバックナンバーを学会ホームページに掲載していますのでご活用ください。 <https://orsj.org/corsj-backnumber>  
会員限定ページの閲覧には、ユーザー名とパスワードの入力が必要です。【ユーザー名】  【パスワード】

### 編集後記

●今月号の特集は「メカニズムデザインの実践と応用」と題してお届けいたしました。具体的な社会実装の例としてビジネスや公共政策に関連するもの、理論と応用にまたがるものと読者の方にも興味深く読んでいただけたのではないのでしょうか。個々の参加者の自由な意志に基づいて、望ましい結果が得られるような仕組みを作るという考え方は、ハードウェア的な実体を伴うものではなくともモノづくりなんだなあなどと感じていました。前述のようにその対象は広く、組織の内部でも、余計な調整を必要とせず、効率的に資源の配分が決定できるようなメカニズムが導入できれば

良いのに、などと思ってしまう。

●私が編集後記を担当するときは、いつも執筆時点の日付を書いているような気がします。また、どうしてもコロナに関心が向いてしまいます。ということで、これを書いているのは1月末です。年末あたりからの第6波が勢いを保ち続け、昨年後半の沈静化した状況とは異なってしまっています。この号が届く3月初めにはどうなっているのでしょうか。春季研究発表会はオンラインでの開催が決定しておりますが、秋には久しぶりに会場に行けることを願って止みません。

（鶴飼孝盛）

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- 委員長 野々部 宏司（法政大学）  
特集担当編集委員 大竹 恒平（東海大学）  
委員 朝日 弓未（東京理科大学）、伊豆永 洋一（九州大学）、井床 利生（IBM基礎研究所）、井家 敦（神奈川工科大学）、鶴飼 孝盛（防衛大学校）、梅谷 俊治（大阪大学）、加藤 怜（公益財団法人鉄道総合技術研究所）、小林 隆史（立正大学）、佐久間 大（防衛大学校）、笹谷 俊徳（東京ガス株式会社）、猿渡 康文（筑波大学）、高野 祐一（筑波大学）、生田目 崇（中央大学）、蓮池 隆（早稲田大学）、原田 耕平（株式会社NTTデータ数理システム）、山本 零（慶應義塾大学）、吉田 琢史（株式会社東芝）

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

令和4年3月号 第67巻 第3号 通巻735号

代表者 田口 東

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<https://orsj.org>

編集人 野々部 宏司

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社（Tel 03-3546-1337）へ。